

■出題傾向

中学校までに繰り返し学習してきた、話すこと、聞くこと、書くこと、読むこと
の分野のうち、書くこと、読むこと
の分野について、高等学校で学習するための基本的な力が身に付いているかどうかを確認するための出題をします。

〔基礎知識〕

- ・ 常用漢字の読み書き
- ・ 口語文法に関する基本的な問題

〔現代文〕

- ・ 対義語、熟語、慣用句、ことわざなどの言語事項一般に関する問題
- ・ 指示語、接続語などに関する問題
- ・ 一般常識を確かめる問題
- ・ 文章の論理を正確に読み取ることが出来るかどうかを確かめる問題
- ・ 文章の要点をまとめる問題
- ・ 自らの意見や経験を伝える表現力を確かめる問題（小作文）

〔古文〕

- ・ 指示語や省略されている主語などの把握に関する問題
- ・ 言い換えの表現を指摘する問題
- ・ 登場人物の心情に関する問題
- ・ あらすじ、文章の展開の把握に関する問題
- ・ 文学史などの知識を確かめる問題

■解答分析

- ・ 正確な基礎知識が身に付いていない傾向が見られます。漢字、語彙、文法の知識を深めていくことが必要です。また記述問題において、伝わりづらい文章表現が見受けられます。日頃から文章表現に気をつけて、あいまいさをなくすような解答の練習が必要です。
- ・ 問題を最後まで取り組めてない人も少なくないです。過去問などで時間配分を意識しながら練習を重ね、また速読力を意識して文章に多く触れることも重要です。

■学習アドバイス

多くの本を読むこと、また色々な問題に触れることで、文章を読むことに慣れましょう。特に評論は、読んだ後で筆者の言いたいことを一度自分でまとめてみましょう。

古文（物語文）でも文章問題に多く向き合ってください。注の語や解説などを手掛かりにして、全体のあらすじを読み取る練習をすることが大切です。

国語の基本は言葉です。一つ一つの言葉を大切に、その意味に丁寧に向き合いながら読み進めていく精読もしていきましょう。